

盂蘭盆法要に参詣の皆さん

です。

じきれなくなったことと無関係ではなさそう

八間のおろかな行いは、大自然の息吹を感

内 容

説相箱 佛教文化講演会のご案内 作ってみよう精進料理

納骨堂へお詣りの方へ

- 大施餓鬼法要
- 秋季彼岸法要のご案内 音楽と極楽
- 音楽法要の内容の 一部
- 生きているチベット死者の書



門中寺院による水むけ



院号授与式 浄光院 笠 マサ子殿



初施餓鬼の霊位に対して焼香

檀信徒各位

秋季彼岸法要御案内

聖名、酷暑の日々もようやく終わり、朝夕に秋の気配を感じる今日この頃です。

早いもので今月は秋のお彼岸です。恒例によりまして下記 の通り彼岸法要を勤めます。 御多忙の処とは存じますが、 お繰り合わせ、御参詣下さいますよう御案内申上げます。

合掌

平成18年9月上浣

無量寺 住職 堤 俊翁拝

※日 時 9月23日(秋分の日)

午後1時より御回向 終了後 音楽法要

※御回向料 位牌型に回向される戒名と施主名を記入し 複数記入されても結構です。

1 霊に付き金 1,000 円以上添えてご志納下さい。

※お供米、お供米料 お供米袋に入れて随意ご奉納下さい。 本尊様のお供え、お花代等にさせて戴きます。

※新しい音楽法要

ピアノ伴奏によるわかりやすいお勤めをします。 お経の内容をわかりやすい詩になおし、ピアノ伴奏によ る歌としてご披露します。是非お聴き下さい。

お願い

墓地へご参詣のみなさまへ枯れたお花などは墓地奥の焼却炉へ

塵かごがあります。

納骨堂へご参詣の皆様へお供えはお持ち帰り下さい。

極楽浄土の音は 聴 <

以外の何物でもない。音の洪水とも

自然界であれば、自然が奏でる音

その中に羽衣がついた「琵琶」や「筝」

浄土の世界を描写したものであり、

る。それはどんな音

山黒谷青龍寺の本堂内壁画は、

極楽

「法然」 より~

~浄土宗

作曲家武満徹は

音であったり……。

る音が存在し、それはけたたましい う静寂がある。やはりこの沈黙を破

つの音に至りたい_ 沈黙と測りあえるほどに強い、

という。作曲家は、沈黙に対して

の。今でこそ雅楽は、宮中との結び

音は、たとえば百千種類もの音楽

ちが演奏している音楽は雅楽そのも

(彼の仏の国土には、常に天楽をな

彼仏国土

常作天楽

静寂な場所であって である。どんなにか この世は音の世界 音は存在してい に存在し、 自鳴楽器」 言われている。取材に出かけた比叡 天には、 雅な音楽が鳴っていると があり、仏の国土 打たないのに鳴る「不鼓

(浄土)

大音響であったり、はたまた繊細な 言える我々の生活の中にも沈黙とい ち演奏している箇所がある。それら 荼羅」のなかにも、菩薩が楽器を持 じである。 を見ると雅楽に用いられる楽器と同 また、奈良當麻寺所蔵の「浄土曼

不鼓自鳴楽器と言えよう。 言い換えれば、 極楽浄土で菩薩た 出す) 倶作

が描かれていた。つまりこれこそが

わしい音を探求し、演奏家はその音 沈黙で返す作業はしない。最もふさ この世にして音の世界であるのだ つきが強い印象を抱くが、 陀羅を見る限り、そして、

を表現しようと試みる。

陀経』の中で読むことができる。 から、「あちら(極楽浄土)」の世界 にも音が存在しているのであろう 音に関する関する経文は『阿弥 ことの意味は、 現代でも、

音声菩薩

は、 れだけではない。 楽であるか、といえば、 天へ向かって起こったのである」 象をうけた。それは、樹のように、 「まさに音がたちのぼるという印 では、 次のように述べている。 雅楽だけが極楽浄土の音 じつはそ

3回ずつ優しく美しい音〈声〉を 「是諸衆鳥 昼夜六時 ある。 (このもろもろの鳥たちは 出和雅音」 昼夜

動かす そこからかもし出される 「微風吹動 (微風が吹き、様々な木々などを 出微妙音 諸宝行樹 譬如百千種楽 同時 及宝羅網

に見ても仏教との結びつきもあっ 歴史的

る天楽」を聴いているがごとくで 「「極楽浄土の世界で演奏されてい あろう。 雅楽の演奏を聴く この世にいながら

この曼

たわけだ。

同じく『阿弥陀経』に次の一文が 宮内庁で雅楽を聴いた武満徹

が同時に演奏されているかのよう である)

のであろうか。 身のまわりのそれと何ら差がある でる音を聞くも、 極楽に棲む鳥たちの声は美し 極楽で鳥の声を聞くも、 じつは私たちの

この地上の鳥たちの鳴き声は

してしまい、 ろうか……。 美しくはないのか……。 ているだけなのだ。 無意味な音に一生懸命意識を集中 過ぎる風の音は、 よぐ風は清浄であり耳の側を通り る音」を聴くことを忘れてしまっ 否 じつは同じなのだ。 この世の 無味乾燥なのだ 「浄らかな 極楽でそ

が鳴っているから。 だ。たとえ街に騒音や喧噪があっ まう。目や耳を塞ぐことはできな い。しかし、 巨大メディアの脅威を感じてし て必要な音を聴くことができるの えすれば、 溢れんばかりの情報社会の中 無理矢理伝えようとしている 「極楽浄土の音」と同じもの その切れ目に僅かではある 自分の耳が開き、そし 無駄な音を排除しさ



浄土宗の新しい音楽法要

 \iiint わかりやすい みんなのおつとめ \iiint



作詞 藤田和海作曲 小川隆宏

1. 奏 楽 (序 章)

2. わが身 浄まり 《香偈》

- 一. 願わくは わが身浄まり 香炉のごとく 信のこころ みほとけに 捧げまつらん
- 二. 願わくは みほとけの智慧 火のごとく ばんのうの 穢れを 焼尽さん
- 三. 念々 がまし しずけさの 香を焚き トケニ世の みほとけに 供養したてまつる

《香偈》

願我身浄如香爐

願我心如智慧火

念念焚焼戒定香 供養十方三世佛 これは音楽法要の一部を例として掲載したものです。



3. 一心に敬って 《三宝禮》

- 一. 一心にうやまって 礼したてまつる 十方世界にいまします みほとけのひかり 明るく 照らし給え
- 二.一心にうやまって 礼したてまつる 十方世界にいまします み法のちから 正しくみちびき給え
- 三. 一心にうやまって 礼したてまつる 十方世界にいまします 僧伽のもろびと 仲良くくらせ給え

《三宝禮》

- 一心敬禮 十方法界 常住佛
- 一心敬禮 十方法界 常住法
- 一心敬禮 十方法界 常住僧

生きている「チベット死者の書

守られています。 北インドのラダックの小さな村で伝統はもともと純粋なチベット文化圏だった チベ **|棄してから危機に瀕しています。 チベット佛教は中国軍が多くのも** 寺

ラダックにはい はありません。 っさい 墓とよばれるも

療して回復を望むよりうまく死ぬことが うとしていました。ラダックの中心には まうので、必要がないからです。 病院もありますが、85歳のこの老人は治 ように何の価値もないものだと考えら 遺体は意識が抜けてしまえば、古 この小さな村で一人の老人が亡くなろ 死者は必ず輪廻して生まれ変わ 遺骨への特別な感情はありません。 って 0) L

> を訪ねていきました。 父から子へ五代にわたって使われてきた 識が必要です。村にはお寺もない といった村の生活の隅々にチョザンの チョザンの家には百年以上前から伝わる バルド・トドウル」を持って老人の家 人が出た場合だけでなく、 巻の経典がありました。 チョザンは ので、

ザンは枕元で大きな声で「バルド・トド ウル」を読み始めました。 いう老人の意識がなくなったので、 夕方になって、ツエリン・パルダンと チョ

今こそ、あなたが道を求めるときです。まもなくめるときです。まもなくい光が表れるのです。 ンよ、よくお聞きなさい。 『ツエリン・パルダンよ、

ウル』を7回もくり返しの直前の『バルド・トドです。』チョザンはこの死の光と一つに溶け合うのの光と一ついったっるのの光と一つに溶け合うのの光と一ついた本質です。そ この光が、あなたの命を

大事なので、村のチベット医を選んで「バ

ました。この村のチベット医チョザン ド・トドウル」を読んでもらうことに

(オンポー

を兼ねています。

んだ後に脈をとりました。

チベ

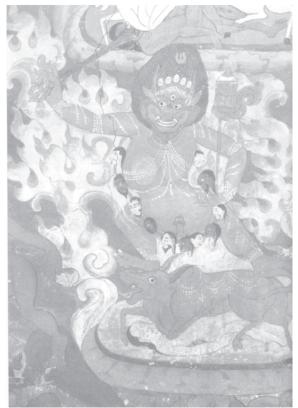
vy

知祭

いましたが、バルダンはチョザンの呼け出すのです。脈はまだ微かに打ってのルンが流れる脈管を通って体外に抜った作っている意識の流れは、身体中考えられています。死の瞬間には、生 びかけにはもう反応しませんでした。 と呼ばれるエネルギーの流 れである脈拍と同じように、ト医学では、身体のなかに 。脈はまだ微かに打ってる脈管を通って体外に抜る意識の流れは、身体中る意識のでは、身体中ます。死の瞬間には、生 れがあると (<u>)</u>

参考文献 チベット死者の書 日本放送出版協会刊 河邑

よくお聞きな



えんま大王

第 33 回 佛教文化講演会

久留米市佛教会主催

心の宇宙を観じて生きる

=真・善・美・妙の世界の旅= 静かに眼を閉じて心の耳を澄ませば、 限りなく広がる心の宇宙を観じる。

そこには真・善・美・妙の心の宝石の世界がある。 心の宇宙を観じながら生きると 慈愛と感謝と希望に心が満たされる。 そんな楽しい心の花園の旅をしましょう。

とき 平成18年10月21日(土)

午後1時30分 開場

午後2時

開演

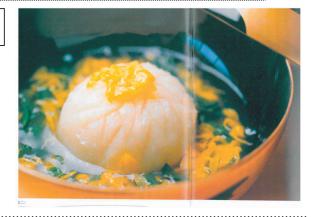
ところ 石橋文化センター共同ホール

講師 山上 光俊師 ピアノ演奏 武田 裕子さん

作ってみよう精進料理

百合根饅頭 菊花あんかけ

{浄土宗かるな} より



材料(4人分)

百合根200グラム浮き粉30グラムぎんなん12個菊花菊菜適量栗麩200グラム利休麩(大徳寺麩)1/2個

出汁 200cc

みょうが 2個

作り方

- 遂1. 百合根を一枚ずつはがし、軽く塩をあてて蒸す。
- ※2. 裏ごしして浮き粉を加えよく練り、1個50グラム ※に丸める。
- 3. ぎんなん、栗麩は油で揚げ、適当な大きさに切る。
- 4.3)を2)で包み、10分ほど蒸してから、油で揚げる。
- 5. 出汁に塩、薄口しょう油、みりんを加えて味を調え、 水溶き片栗粉を流し、混ぜながらとろみをつける。
- 6.4)を器に盛って 5)をかけ、千切りにしたみょうが、湯通しした菊花と菊菜散らす。

持ち

L

1)

のに

てほ出

か

賽 お

銭

どろ

てぼた。

願等おしりしの返おかの納賽こけま いにきかまば解却預らバ骨銭れし申はまるし、錠しけでツ堂をはて

しあ

ク等

5 h

でしがそる、 で た 済 の 、 り こ た た

む為置

ごき引

寺のがご

あば扉でをた方はお

き

発 参

ま鍵しのに

り等部に出 部

持潜

内

で

ま と

生詣き

錠しけ

7

をがておし

お容い詣た

こともしたびに

り

た

に詣

不施頂て

便錠い

易

1)

があな

しなた。 た

か

け

1)

た

0)

各自でごなるに、今後は

注おは

意詣入

てきただきます

りり

ÓП

最の

中扉

のは

貴日

重中

品解

の錠

管し

お理て

今後:

手荷物、 骨堂へお詣

口の扉は日中、 貴重品には十分気をつけて下さい。 解錠します。

ケ

月前

から納骨堂の

入り

口を施錠

7

お

0)

4

なさまにはご不便を

お

だるまさん

年間 5回の法要(御忌、彼岸、施餓鬼、十夜)の法話、 念佛講、14日会等に参加された方に渡しています。 100だるま以上集められた方には無条件で、お戒名 に院号をお贈りします。お札に名前を書いて保管して おいて下さい。





使用済みのカードはありませんか?

使用済みのプリペイドカード (テレフォンカード、 ハイウエイカードなど)がありましたら、お寺へ御 持参下さい。独立行政法人国際協力機構 (JICA) を通 じて、世界中の子供達の医薬品や医療器具などを購 入するための資金を得る活動に役立てていただきま す。

世界中のカード収集家に販売してその収益が当てら れます。

写真や絵など図柄が美しいものが、喜ばれます。

香林山 冷智院 無量寺

機関誌

第 44 号 平成 18 年 9 月 1 日発行 〒830-0044 福岡県久留米市本町8-4

TEL 0942-32-3010

FAX 0942-32-2701

郵便振替口座 01750-7-16114

URL http://www.muryoji.net